

第7回 皇學館大学道德科教育研究協議会研究大会のご案内

参加は新型コロナワクチン予防接種を2回接種された方に限らせて頂きます。
当日「予防接種済証」をご持参いただき、受付にてご提示ください。

1、テーマ 「各教育活動における道德教育の探究と展開」

2、開催趣旨

道德教育の実効性を高めるため、小中学校において道德科がスタートして、質量ともに授業の充実化がはかれることになってきています。しかし、本来の道德教育は道德科の指導だけで完結するものではありません。道德科の授業を要としながらも全教育活動で道德教育を包括的に行わなければなりませんし、そうしなければ十分な教育効果は見込めないでしょう。そのようなことから、本協議会では今年『五教科で伝えたい道德小話』を作成し、教科で行える道德教育の研究を始めました。

そこで、今回は大会テーマを「各教育活動における道德教育の探究と展開」とし、各教育活動における道德教育やその統合の方法などについて、参加者のみなさんとともに討究していきたいと考えています

3、日時

令和3年11月28日(日) 9:30(受付 9:00～)～15:10

4、会場 皇學館大学 621 教室(6号館2階)

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町 1704

TEL.0596-22-0201(代) FAX.0596-27-1704

※三重県下に非常事態宣言が発令された場合は、オンライン開催にします。

5、主催・後援

〔主催〕 皇學館大学道德科教育研究協議会

〔後援〕 生徒指導士認定協会

6、日程

・開会挨拶(9:30～9:40)

・実践発表(9:40～12:40)

溝口哲志(津市立美杉小学校)「PBISを活用した学級経営と道德科の授業」 (9:40～10:05)

質疑応答(10:05～10:25)

伊藤 優(世田谷区立多聞小学校)「偉人語りが子どもの志を育む」 (10:25～10:50)

質疑応答(10:50～11:10)

松尾大輔(浪速高等学校・中学校)「総合的な学習の時間における道德性の育成」 (11:10～11:35)

質疑応答(11:35～11:55)

高橋 洋一郎(津田学園中学校)「教科を横断して行える道德授業～北里柴三郎」 (11:55～12:20)

質疑応答(12:20～12:40)

〈昼休み 12:40～13:00〉

・講演(13:30～15:00)

下村博文(元文部科学大臣、衆議院議員) 「世界を照らす日本のこころ」

質疑応答(15:00～15:10)

・閉会の辞(15:10)

7、申し込み

申し込みは、**新型コロナワクチン予防接種を2回接種された方に限らせて頂きます。**

メールでのみ受け付けます。**11月22日(月)まで**にお申し込みください。

メールの件名は「第7回皇學館大学道德科教育研究協議会研究大会参加申し込み」として、次の4つをお知らせください。

①お名前 ②ご所属 ③e-mail アドレス(PCのみ)

※当日会場近くでご昼食がとれるお店がありませんので、予め各自でご昼食をご持参ください。

【申し込み先】 tsu-watanabe@kogakkan-u.ac.jp

【申し込み後】 受付後、メールにて「参加証」と「健康記録カード」をお送りいたします。送られてこない場合は事務局にメールが届いていない可能性がありますので、お問い合わせください。「参加証」と「健康記録カード」に必要事項をご記入の上、

当日、「参加証」と「健康記録カード」を受付にご提出ください。

当日、受付で「予防接種済証」をご提示ください。

8、参加費 無料

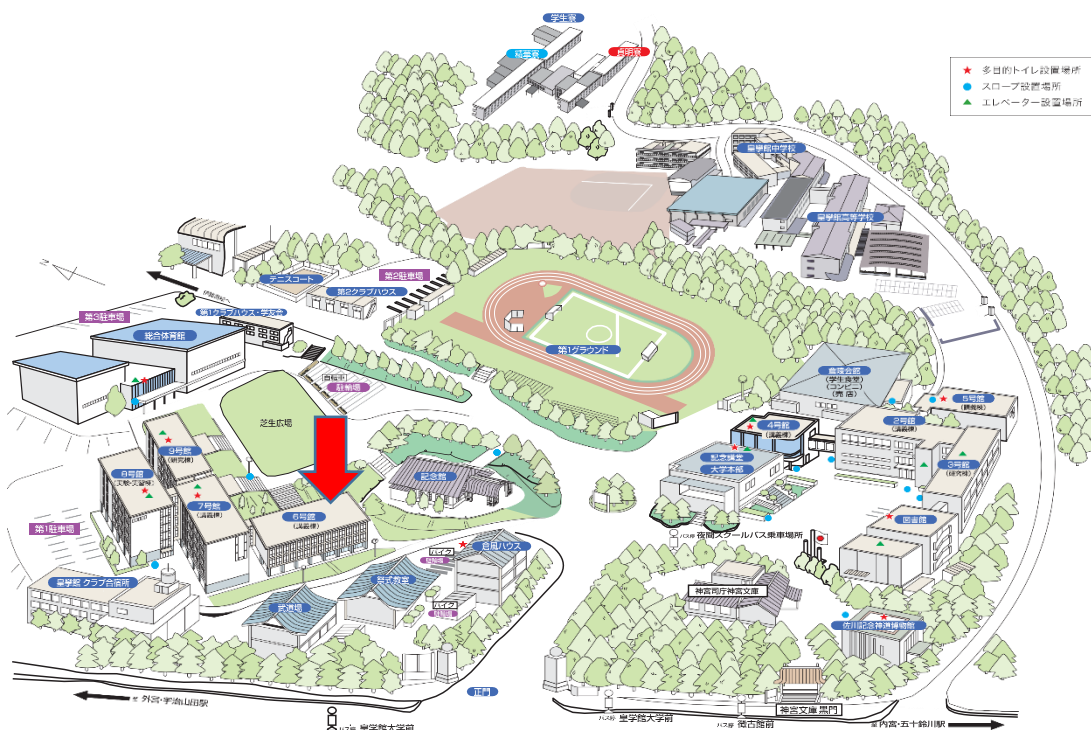
9、問い合わせ(事務局)

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町 1704 皇學館大学 渡邊毅研究室内
電話 (0596) 22-6425 FAX (0596) 27-1704

10、交通

伊勢市駅 (JR・近鉄) または宇治山田駅 (近鉄) より、内宮行バス (徴古館前経由) または宿浦行バスに乗車し、皇學館大学前下車 (約 10 分)。徒歩の場合は、各駅より約 20 分。

※駐車場が狭いため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のための大会参加留意事項

皇學館大学道徳科教育研究協議会

【基本方針】

○感染予防対策の徹底

密閉(歓喜の悪い空間にいる)、密集(手の届く距離に多くの人がいる)、密接(近距離での会話や発生がある)の二つの密を徹底的に回避し、ゼロ密を目指す。

- ・十分な換気をする。
- ・人と人との距離をとる。
- ・マスクなしの会話や発生はしない。

1. 大会参加時の持ち物

- ・マスク(着用のこと、破損時等対応のため予備のマスクもお持ちください)
- ・ハンカチ
- ・体温計(来場前に検温するためにお持ちください)
- ・健康記録カード(参加申し込み時にメールで送付送信)

2. 大会参加者は以下の点にご留意ください。

- (1)参加日の朝、会場に向かう前に検温と健康観察の結果を「健康記録カード」に記入してください。
会場に向かう前に検温できなかった方は、会場に入る前に検温し、異常のないことを確認後、会場に入るようにしてください。
- (2)発熱(37℃以上)や咳、のどの痛み、怠感などの風邪症状がある場合は、参加を見合わせてください。
- (3)会場内ではマスクを着用し、口・鼻ともにマスクで完全に覆ってください。
- (4)来場時に、「健康記録カード」を受付で提示してください。
- (5)会場に入る前に、手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行ってください。
- (6)十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事で免疫力を向上させて、万全の体調で参加してください。
- (7)粘膜の乾燥による感染を防ぐため、こまめな水分補給をお願いします。

3. 大会参加を認めないケースについて

以下の場合、入場、入室をお断りさせていただきます。

- (1) 37℃以上の熱がある(4日以上続いている場合でも不可)
- (2) 以下のような症状がある。
風邪の症状、せき、たん、のどの痛み、息苦しさを感ずる、胸に違和感がある、胸に痛みを感じる、下痢、吐き気、頭痛、全身倦怠感、においを感じにくい(または感じない)、味を感じにくい(または感じない)、その他(消化器症状)。
- (3)PCR 検査を受けて陽性、受検待ち、陰性と出たが結果が出てから2週間以内である。
- (4)濃厚接触者となっている。
〈濃厚接触者の範囲〉
 - ・新型コロナウイルス感染症が疑われる者と同居あるいは長時間の接触(教室、車内、機内を含む)があった者。
 - ・適切な感染防護なしに新型コロナウイルス感染が疑われる者を看護、介護等していた者。

- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる者の気道分泌液や体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者。
- ・手で触れることまたは対面で会話することが可能な距離(目安として 2m以内)で、必要な感染予防なしで新型コロナウイルス感染症が疑われる者と接触があった者。
- ・感染予防策を講じていた場合でも、手が触れることができる近い距離で新型コロナウイルス感染症が疑われる者と 10 分以上会話した者。
- ・換気していない教室等で長時間一緒に過ごした者。
- ・新型コロナウイルス感染者と知らずに、けがの手当てをするなど、接触した者。
- ・教室等の座席が、新型コロナウイルス感染者の両隣、前後、対面、斜め前後の席に位置している者 など。

※県下に新型コロナウイルス感染に関わる緊急事態宣言が発令された場合、オンライン開催に変更します。